

京大古代学の最前線

—古代への誘い—

京都大学大学院文学研究科には、日本と世界の古代について、歴史学、考古学をはじめとして、哲学、語学・文学など、多様な分野で研究がなされています。

このシンポジウムでは、第1部で研究科専任教員がそうした研究の最前線について講演します。次いで第2部のパネルディスカッションでは、教員が古代の研究を志した理由や古代（学）の魅力についてお話しするとともに、これからの京大古代学の発展をめぐって意見交換をしたいと思っています。ぜひご来聴ください。

12月8日(土) 午後1:30-5:30

京都大学文学部校舎第3講義室（京都市左京区吉田本町）

参加無料
申込不要

第1部：京大古代学の最前線 —基調報告—

基調報告者

- ・日本古代史研究 —古代王権とウチツクニ— 吉川 真司
- ・日本考古学研究 —古墳の歴史的意義— 下垣 仁志
- ・中国古代史研究 —『左伝』とその周辺— 吉本 道雅
- ・古代ギリシア文学研究 —喜劇とユーモアの比較研究の面白さ—
マルティン・チエシュコ
- ・古代ギリシア哲学研究 —プラトン哲学へのアプローチの最前線—
早瀬 篤

第2部：古代学と古代世界の魅力を語る —パネルディスカッション—

パネラー

- 日本古代史研究 吉川 真司
- 朝鮮考古学研究 吉井 秀夫
- 中国古代史研究 吉本 道雅
- インド古典学研究 横地 優子
- 西洋古代哲学史研究 中畑 正志
- 西洋古典文学研究 高橋 宏幸
- 中国古典文献学（中国語学・近代中国研究） 平田 昌司
- 英文学（シェイクスピア研究） 廣田 篤彦

※司会：西洋古代史研究 南川高志



【お問い合わせ】 京都大学文学研究科総務掛（TEL 075-753-2700）
【主催】 京都大学大学院文学研究科
【協賛】 京大以文会